

Oncology News

低・中所得国は、がん手術後の転帰が不良／Lancet

がん患者の 80%が手術を必要とするが、術後の早期の転帰に関する低～中所得国（LMIC）の比較データはほとんどないという。英国・エディンバラ大学の Ewen M. Harrison 氏ら GlobalSurg Collaborative and NIHR Global Health Research Unit on Global Surgery の研究グループは、とくに疾患の病期や合併症が術後の死亡に及ぼす影響に着目して、世界の病院のデータを用いて乳がん、大腸がん、胃がんの術後転帰を比較した。その結果、（1）LMIC では術後の死亡率が高いが、これは病期が進行した患者が多いことだけでは十分に説明できない、（2）術後合併症からの患者救済能力（capacity to rescue）は、有意義な介入のための明確な機会をもたらす、（3）術後の早期死亡は、一般的な合併症の検出と介入を目指した、周術期の治療体制の強化に重点を置いた施策によって抑制される可能性があることなどが示された。Lancet 誌 2021 年 1 月 21 日号掲載の報告。

82 カ国 428 病院の前向きコホート研究

研究グループは、全身麻酔または脊髄幹麻酔（neuraxial anaesthesia）下に施行される皮膚の切開を要する手術を受けた原発性の乳がん、大腸がん、胃がんの成人患者を対象に、国際的な多施設共同前向きコホート研究を実施した（英国国立健康研究所[NIHR] グローバル健康研究ユニットの助成による）。

主要転帰は、術後 30 日以内の死亡または重度合併症とした。マルチレベルロジスティック回帰により、病院および国別の患者における 3 段階のネストモデル内の関連性を解析した。病院レベルのインフラストラクチャー効果は、3 要因媒介分析で評価した。

2018 年 4 月～2019 年 1 月の期間に、82 カ国の 428 病院から 1 万 5,958 例（乳がん 8,406 例 [52.7%]、大腸がん 6,215 例 [38.9%]、胃がん 1,337 例 [8.4%]）が登録された。高所得国（31 カ国）が 9,106 例、高中所得国（23 カ国）が 2,721 例、低・低中所得国（28 カ国）が 4,131 例であった。

低・低中所得国で、胃がん、大腸がん、合併症による死亡率が高い

LMIC は高所得国に比べ、より進行した病変を持つ患者が多かった。30 日死亡率は、胃がんが低・低中所得国（補正後オッズ比[aOR] : 3.72、95%信頼区間[CI] : 1.70～8.16）で高く、大腸がんは高中所得国（2.06、1.11～3.83）および低・低中所得国（4.59、2.39～8.80）で高かった。乳がんでは死亡率の差は認められなかった。

重度合併症の発現後に死亡した患者の割合は、低・低中所得国（aOR : 6.15、95%CI : 3.26～11.59）および高中所得国（3.89、2.08～7.29）で高かった。

当コンテンツは、株式会社ケアネットの監修により、がんに関連する重要論文を選別し、それらを簡潔に要約したニュースレターです。当社の見解を述べるものではなく、承認外使用を推奨するものではありません。内容の詳細については元文献・元ニュースを、製品に関する情報は各製品の最新の添付文書をご確認いただきますようお願いいたします。

尚、当コンテンツに掲載されている記事等に係る所有権、著作権その他一切の権利は、ニプロ株式会社、株式会社ケアネット、コンテンツ制作者等の著作権者が保有しています。

Oncology News



合併症発現後の術後死亡は、60%が患者要因で、40%は病院または国の要因で説明が可能であった。LMICでは、一貫して利用可能な術後ケア施設がないことが、重度合併症 100 件当たり 7~10 件以上という高い死亡率と関連していた。また、がんの病期だけでは、国別の死亡率や術後合併症発現の早期のばらつきは、ほとんど説明がつかなかった。

著者は、「LMIC では、周術期死亡率が過度に高く、これががん生存の劣悪さに寄与している。術後の一般的な合併症の発現後に、回避可能な死亡を防ぐには、LMIC の医師の主導により、実践的な周術期介入を緊急に評価する必要がある」としている。

< 関連文献 >

GlobalSurg Collaborative and National Institute for Health Research Global Health Research Unit on Global Surgery. Lancet. 2021;397:387-397.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33485461/>

当コンテンツは、株式会社ケアネットの監修により、がんに関連する重要論文を選別し、それらを簡潔に要約したニュースレターです。当社の見解を述べるものではなく、承認外使用を推奨するものではありません。内容の詳細については元文献・元ニュースを、製品に関する情報は各製品の最新の添付文書をご確認いただきますようお願いいたします。

尚、当コンテンツに掲載されている記事等に係る所有権、著作権その他一切の権利は、ニプロ株式会社、株式会社ケアネット、コンテンツ制作者等の著作権者が保有しています。